

2020.10.1



飛騨市民病院 ICD 中林玄一 2020.1~9月資料(10/2 一般公開版)

1

## Limitation

- 本スライドは2020年1月～9月に、飛騨市民病院の関係者、飛騨地域を中心とした地域の一般生活者、飲食・宿泊事業者、介護福祉関係者、学校関係者などへの「わかりやすい情報提供」として自身の責任において作成・講演させていただいた資料です（ウイルス感染対策に関連した博士号を取得した経歴もあり地域の役目をいただき活動してまいりました）。
- 新型コロナ対策は小地域だけで努力して解決する問題ではありません。観光地である当地は官民挙げて「安心して来訪いただける体制」を整備しておりますが、来訪・御利用される方にも正しい感染対策をいただくことで「安全な生活・観光」が完成することから、このほど情報を無償公開させていただくことしました。
- 新型コロナウイルスのエビデンスは国内学会・海外著名誌などを参照するも十分ではなかったため、当資料の作成に当たっては過去のウイルス学や工学的知見なども集積して作成しており、推察が入っていることをご了承下さい（これまでのところ、推察した内容は後でエビデンスが出ており、今回の公表に際してスライド内容の修正は行っておりません。至らない点を発見いただいた場合はメールにてご一報いただければ幸いです）。

飛騨市民病院 ICD 中林玄一 2020.1~9月資料(10/2 一般公開版)

飛騨市民病院 ICD 中林玄一 motokazu-tym@umin.net

2

# 「社会をまわしていく」のイメージ

一般の大多数イメージ

感染対策なし

社会対応は、どこかに落とし所

マスク・手洗い  
3密防止など

大差なし

宇宙服レベル

左記+アイシールド

医療従事者の対応

**この差が大きい！**

皆が少しずつ努力するだけで「大きな効果」！

適切に予防すれば、訪問対応も可能（訪問頻度・順序などを工夫）

飛騨市民病院 ICD 中林 玄一 2020.1-9月資料(10/2 一般公開版)

3

## あわせて必ず参照してください

2020.10.1

基本を確認！

### 新型コロナウイルスの基礎知識

飛騨市民病院  
ICD (イフエツシヨウコホニトクワ)

中林 玄一

2020.10.1

### 新型コロナウイルス ～基本の対策～

飛騨市民病院  
ICD

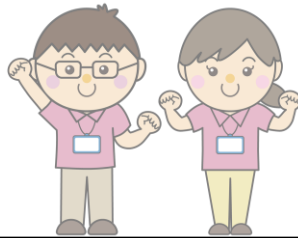
中林 玄一

飛騨市民病院 ICD 中林 玄一 2020.1-9月資料(10/2 一般公開版)

4

## 高齢介護施設における 最重点は職員保護！

- 第1に「介護者の感染抑止」が重要です。
- 罹患で職員が減少するとサービスを提供できなくなり、結果として「感染と無関係な負の影響」も急増して入所者等の健康悪化につながります。



飛騨市民病院 ICD 中林玄—2020.1—9月資料(10/2—般公開版)

5

## 感染者発生時の居室対応

発症者、接触者を区分したゾーニングが有用。

ゾーニング不可の施設であっても、徘徊が起こらず、換気が良好であればフロア・エリア分離ができなくても居室単位の感染管理可能と考えられる。



ゾーニング・部屋の機能にかかわらず、スタッフが個室に入って最初に行う事は“身を守る”ための「窓開け換気」！

飛騨市民病院 ICD 中林玄—2020.1—9月資料(10/2—般公開版)

6

## 居室の対策

- 接触前に、最低でもマスク着用。
- 介護対象がマスク着用していない場合は、着用いただく。
- 密着業務を伴う場合はエプロン・アイシールド（フェイスシールド）も着用。
- 施設では常に窓・ドアを通じた換気に留意する。訪問では入室したらすぐに窓開け換気を行う。

①窓開け・ドア開け換気



飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

7

## 食事介助

- 介助対象の方には、直前までマスクを着用いただきますよう。
- 介助者は、マスクに加えて、アイシールド（フェイスシールドなど）を必ず着用しましょう。  
目の保護なしで感染接触と判明した場合には濃厚接触者判定を受けます。
- 介助は側方・後方から行い、相手の正面（飛沫の進行方向）からは行わないようにしましょう。
- 流行期には、介助中の会話は「介助対象の発話が最小限になるよう」にしましょう。



飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

8

## 入浴介助

- 湯水は感染リスクが低いと考えられます。
- ただし周辺の物品を介する接触感染リスクに注意が必要です。湿度によるウイルス長期生存の可能性があるため清掃（+必要なら消毒）が重要です。
- 脱衣所など動線が重なる場所はリスクが高く、換気と定期消毒が重要です。
- 最も有効な対策は介助対象の常時マスク着用ですが、現実には困難かもしれません。浴槽に入るギリギリまでは着用推奨です。
- 介助対象がマスクOFFの際、介助者にとって最も安全なのはマスクに加えてアイシールドですが、実際は困難なので気流制御の併用を考慮しましょう。



飛騨市民病院 ICD 中林玄一 2020.1~9月資料(10/2 一般公開版)

9

## 入浴介助は気流コントロールで工夫を

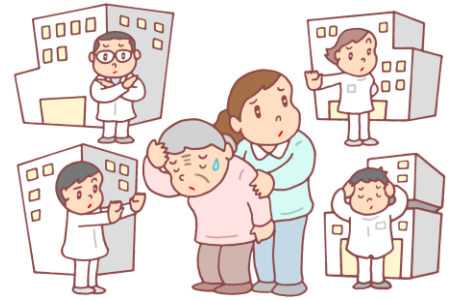
- 高湿度による落下が促進される環境（上方に行きにくい）。
- 浴室の霧は塩素を含んだ水道水がエアロゾルになったもの（多少の消毒効果）。

換気が良好であれば、サーキュレーターや扇風機による気流制御を併用することで、「上流の介助者の安全を確保」し、拡散で「感染性は急速に減弱」の効果が期待できる（サーキュレーターは介助者の後方に配置し、風向は介助者→被介護者の方向）。

飛騨市民病院 ICD 中林玄一 2020.1~9月資料(10/2 一般公開版)

10

## 患者発生 of 早期発見と 病院受け入れ率の関係



原則、感染者は全員入院なのですが…**病床数・スタッフマンパワーは有限**です。

クラスター人数が多くなると、受け入れは困難になります。  
要介護度が高い場合も、受け入れ優先度が下がります。

クラスター化する前に気付いて搬送に至れば、  
全ての感染者を病院に搬送出来る可能性が高まります。



**早期発見（疑って対応）が大切です！**

飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

11



## 接触感染対策

- 流行時期に最も注意していただきたい接触感染は「スマホ」経由です。
- 仕事中に触っていなくても、無意識の行動や、予想外の場所でウイルスが付着している可能性があります。
- 背面/カバーのプラスチック部位は、消毒しなければ最長で数日間も新型コロナウイルスが活着している可能性があります。

飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

12



## 情報共有とプライバシー

- 新聞を通じて情報を知る状況を避ける。
  - 新聞にはプライバシーや社会不安を配慮した最小限の情報が望ましい。
  - 情報が「社会で均等・均質」である必要はなく、現場業務の情報共有に役立つような詳細情報を「一般報道」することは差別を助長する。
- 一方で「該当する関係機関・各位同士」は、細かな接触歴・行動歴まで含めた詳細な情報共有ネットワークを通じてパニック的な連鎖混乱を避けることが必要。



飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

13

## 冬への備え

- 長期の面会制限になる可能性があります。
  - 家族・関係者への事前周知
  - Web面会の準備
  - 急変などで「大流行している地域からの家族面会」を受ける際の院内手順の整備。



飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

14

## ワクチンの励行

- 新型コロナとインフルエンザは症状が似通っており、臨床的に区別は困難です。また同時罹患も起こることがわかっています。
- 同時流行すると医療機関の混乱や、重症者の増加が懸念されています。
- 検査はいずれも100%では無く、新型コロナのPCR検査は7割程度の制度に留まり、結果が判明するまで時間も要します。
- インフルエンザワクチンをはじめとする既存ワクチンの接種により「今できる予防」を職員・高齢者とも励行することが推奨されます。



飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

15

今後繰り返される未来に向けて

気が早いですが、流行が終息したとしても、未知のパンデミックはほぼ確実に再度やってきます。

今回の新型コロナは「感染しやすさ」がずば抜けている」特徴なので、「withコロナでも大丈夫な感染防御」をレガシー化することは、今後「何が来ても、どのように来ても」うろたえない体制につながります。

飛騨市民病院 ICD 中林玄 - 2020.1~9月資料(10/2 - 一般公開版)

16